



令和2年度 蛸島小ナニヨリ



地域で学ぶ、地域を学ぶ ~SDGsの視点を生かして~

蛸島小学校 校長 西 敏之

最近、テレビや新聞で、SDGs（エス・ディー・ジーズ）という言葉を耳にすることが多くなってきました。SDGsとは、「持続可能な開発目標」という意味の英語の略称です。平成27年国連サミットで採択された「2030年を期限とする、国際社会全体の17の開発目標」のことです。「誰一人取り残さない社会」の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に取り組み、未来に向けた「持続可能な社会づくり」を推進する取組です。

珠洲市も「SDGs未来都市」に認定され、“奥能登SDGsラボ”を中心に取組を進めています。市の取組の一環として、本校の5・6年生は総合的な学習の時間に、SDGsの視点を生かし、漁業での「技術の進歩と資源維持」について探求的な学習を行いました。

船上で、刺し網でのサザエ漁や釣りの体験を通して海の豊かさを感じるとともに、船長さんの話から昔に比べ漁獲高が減っていることを知りました。詳しく調べるために漁協を訪問し、蛸島港での漁業について学びました。漁のやり方や漁獲量の推移についての説明を聞き、確かに漁獲量が減っていることを知りました。子ども達は、その要因の一つとして、技術の進歩が“獲りすぎ”につながったのではないかと考え、どんな技術が導入されているのかを調べることになりました。



底引き網漁師の山崎政広さんをお招きし、「魚群探知機」「GPS」「航行支援システム」等の機器について説明していただき、技術の進歩で、より安全に、より確実に操業できるようになったことを学びました。



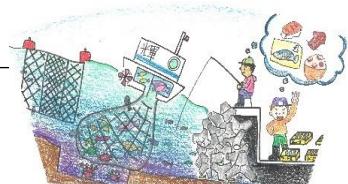
また、定置網漁についても学習しました。田川益蔵さんをお招きし、魚の習性を利用した定置網漁の仕組みや、定置網漁でも魚群探知機を活用し、魚がたくさん入るとスマートフォンに通知がくる“技術”を教えてもらいました。



水産資源の枯渇を防ぐ工夫等についても、お二人の話を聞いたり、調べたりしました。「禁漁期間の設定」「網目の大きさの工夫」「漁獲量の制限」等を行って、資源保護に努めていることを知りました。

豊かな海を守るには、資源管理を意識した漁業だけでなく、環境問題にも取り組んでいかなければなりません。漁師さんのお話から、漁にもごみによる海洋汚染の影響が影を落としていることを知りました。

さらに調べを進めると、プラスチックごみ（マイクロプラスチック）による海洋汚染が広がっていて、海の生き物の害になっているという問題に気づきました。その後、子ども達は話し合って情報を整理し、漁業が「将来も持続可能な産業」であるために自分たちに出来ることを考え、発表しました。



学習を終えた子ども達からは、次のような感想が聞かれました。

- ・漁師さん達が、魚が少なくなないように様々な工夫をしていることが分かりました。魚をとってくれた漁師さん達と、命をくれる魚に感謝して残さず食べます。
- ・使っているプラスチックがゴミになると、魚や鳥が死んでしまうことがあることがわかりました。捨てる時は分別をしつかりしたり、釣りでは小さい魚をにがしたりしたいです。
- ・総合の学習を振り返ると、「漁業」「塩づくり」「観光・体験」など、珠洲市は、海と深くつながっていて、海と共に生きているんだと思いました。漁師さんの海を守る取組の中に、植林活動があるという話を聞き、漁業を続けていくには、海の環境だけでなく、山の環境も関わってくることがわかりました。今、自分が取り組んでいることが未来にもつながっていくので、自分にできることを考え、取り組んでいきたいです。

体験を通して感じたことや知り得た情報をきっかけに、地域の方々から情報を集め、「これからも、ふるさとの豊かな海で漁業が続けられるようにするには、どうすればいいのだろう。」と考えたSDGsの学習。今後も地域を生かした学習を積み上げ、次代を担う子ども達に「豊かな自然の価値を認識し、環境に配慮したライフスタイルの必要性」への理解を深めさせ、持続可能な社会づくりに関わっていく意識を育てていきたいと思います。学習にご指導いただいた皆様に感謝申し上げるとともに、今後とも児童の学習にご協力をお願い致します。

書初大会



1月8日(金), 校内書き初め大会がありました。お手本を見ながら一生懸命に取り組みました。

書き初め大会入選

1年	田川 月音 多原 莉桜
2年	増田 律
3年	新出 真弘
4年	川坂 南葵 米谷 友良
5・6年	田川 ゆうあ 番匠 泰雅



新年作文発表会

1月14日(木), 児童集会で新年作文発表会が行われました。5人の代表が, 新年の出来事や抱負について発表しました。宿題をすぐにする, 友達を仲良くする, スポーツの練習を頑張る, 高学年として行事を成功させたい等, 意気込みが感じられました。

新年作文入選

1年	小高井 希彗 能村 泰雅
2年	長松 純菜
3年	新出 真弘
4年	小高井 希乃香 寺田 昂太
5・6年	田川 ゆうあ 山崎 韶暉



新年作文発表会の様子

校内百人一首大会



1月18日(月), 図書委員会の運営で校内百人一首大会が行われました。高学年になると上の句が読まれただけで札をとる児童もいました。

大会は, 個人戦と団体戦が同時に行われ, 同じ班員同士で励まし合っている姿も見られました。団体戦は8対6で赤組が優勝しました。個人戦の結果は下記のとおりです。

百人一首大会入賞

1年	多原 莉桜	新出 富大
2年	山崎 貞稟	
3年	新出 真弘	
4年	小高井希乃香	長松 琥珀
5・6年	室谷 元樹	新出 遙也

そり・スキー教室



1月26日(火), 柳田植物公園で1~4年生を対象として行われました。

1・2年生は, 午前中にそり遊びを, 午後からはプラネタリウムを見て楽しみました。

3・4年生は, スキーの練習をしました。最初はスキー板に乗ってバランスをとるのも難しそうでしたが, 帰る頃には斜面を滑り降りることができるようになりました。



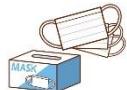
なわとび大会にむけて



2月に開かれるなわとび大会に向けて, 縦割り班での「8の字跳び」の練習が週に1回行われています。まだまだタイミングがつかめない低学年には高学年が背中を押す様子も見られます。20日の練習では, 4年生以上がお手本を見せました。高学年がタイミングよく続けて跳ぶ姿に, 低学年の児童から感嘆の声が上がっていました。

マスク, ありがとうございました!

蛸島地区青年福祉委員会の皆様より, 子どもたちのために, 1人1箱のマスクとティッシュを寄贈していただきました。例年, 冬休みに開かれていた子ども交流大会を開催することができなかったためと学校に届けて下さいました。青年福祉委員会の皆様, 本当にありがとうございました。予備のマスクとして学校で使わせて頂いております。



2月の主な行事予定

2日(火) 校内なわとび大会

3日(水) 委員会(6限目)

4日(木) 児童集会



避難訓練(火災・けむり体験)

16日(火) 指導主事計画訪問C

17日(水) クラブ(6限目)

18日(木) 生活科・総合的な学習の時間発表会

6年生中学校入学説明会

学校保健委員会・学級懇談会

19日(金) 6年生緑丘中体験入学

26日(金) 読書の朝(どんぐり)

保育所お招き会